

2020年4月号へのご意見

自分自身の行動を考える参考になった

最近、生徒の意思決定力が乏しいと感じる。他者の指示に従うことしかしない生徒を見ていると、自分のことをもっとよく考えてほしいと思う。自己のあり方や生き方を考えることは、そういうことにつながるのではないかと。学校再開後に向けて、自分が取り組むべきことをいろいろ考えていたが、4月号の特集はそんな自分に大いに参考になる内容だった。 静岡県・私立沼津中央高校 後藤松太郎

対話こそが、自分らしさに気づく方法

4月号の特集に掲載された慶應義塾大学の前野隆司教授の記事は、Well-beingという視点、幸せの4つの因子、対話の重視等、大いに共感できる内容だった。「あなたらしく」生きることは、ぜひ生徒に伝えたい内容だが、一人ひとりが「あなたらしく」あることはまだ難しい世の中なのではないかと感じる。また、「あなたらしく」を求めることは、理想の自分ばかりを追い求める自分探しに陥る可能性もある。そこで重要なのが、対話だ。自分で考えた「あなたらしさ」ではなく、他者のフィルターを通した「あなたらしさ」に気づくことができるだろう。これからの社会を生きていく生徒には、Well-beingの視点が重要であり、その視点から学校教育を見直す必要があると考える。 千葉県立銚子商業高校 田中三郎

自分事にするワークシートの工夫に感服

4月号の「改良！ 指導ツール ピフォーアフター」で

は、「自分事にしよう」の視点が大変参考になった。これまで、進路学習では、勤務校の生徒の実態に応じてアレンジしたワークシートに取り組みせ、クラスで発表・共有していたが、どうしても生徒に書かせることが中心になりがちだった。その点を改善できそうだ。

栃木県立真岡工業高校 半田高史

高校生がSDGsに取り組む意義が分かった

探究学習にSDGsを取り入れている高校が増えていく。しかし、目標達成に向けては、国や自治体、企業でさえも、かなりの時間と労力、努力、協力が必要とされる。それなのに、なぜ、高校生が取り組むべき課題なのかを説明するのは難しいと感じていた。その疑問に答えてくれたのが、4月号の新連載「SDGsの視点で見る大学の学び」だった。SDGsの背景や特徴、その意義が端的に説明されており、すぐに学校で活用できる内容だった。

富山県 匿名希望

若手教師の意見を取り上げる新コーナーに期待

6月号から始まる「若手教師・教育創造 MTG」に、大いに期待している。これまでの教育のあり方では、時代の流れに乗り遅れてしまうと感じていたが、若手教師の意見を大々的に取り上げることは、教育改革への第一歩になるだろう。若手教師からの「新しい風」は、これからの学校教育に生かされていくべきだと信じている。

島根県 匿名希望

OFF SHOT



新型コロナ禍は、私の日常にも変化をもたらしました。東京にあるオフィスへの通勤電車では、3月から徐々に利用客が減り、オフィスの最寄り駅にはサーモグラフィーが登場（写真）。試しに測ってみると、虹色の怪しい人物が映っていました。4月からは完全在宅勤務となり、通勤がない代わりに運動不足に陥り、少々肥満気味です。オンライン会議が日常になり、取材もオンラインが基本になりました。先生方からオンライン授業の導入状況や苦勞をお聞きし、大変な現状を認識しました。5月末に緊急事態宣言が解除となって改めて先のことを考えると、これが教育スタイルの変化の節目になったと振り返る日がいずれ来るのだと理解しました。だからこそ、今、最新の情報をお届けしなくてはと、改めて身が引き締まる思いです。（広瀬）



『VIEW21』高校版が
電子ブックに
なりました！

『VIEW21』高校版は2020年4月号から電子ブックでご覧いただけるようになりました。ベネッセ教育総合研究所のウェブサイトでご確認ください。
HOME → 教育情報 → 高校向け → 情報誌最新号

VIEW21 最新号 検索

VIEW21 高校版 2020 8 月号

次号は8月20日発行（予定）
『VIEW21』高校版は年6回の発行です